第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART2 ロシア革命

Chapter 1 二度の革命とボリシェヴィキ独裁

目標
ロシア革命でボリシェヴィキがどのように勢力を拡大したのかを学ぼう。
ソヴィエト = ロシアが成立後に何を宣言したのかを確認しよう。

1 二月革命とボリシェヴィキの台頭

①ロシア〔　　　　　　　　　〕（三月革命）（1917 年）
首都〔　　　　　　　　　　　　　　　〕で市民が蜂起
※第一次世界大戦中，民衆の不満が高まる。
→**ニコライ 2 世**が退位し，**ロマノフ朝**は滅亡

②〔　　　　　　　　　　　　〕（評議会）が各地に成立
当初は**メンシェヴィキ**と**社会革命党**左派が主流
※**ボリシェヴィキ**の幹部は国外亡命中。

③二重権力状態
ロシアは**臨時政府**と**ソヴィエト**の二重権力状態に
A　臨時政府
立憲民主党と社会革命党の右派が主流，ブルジョワジーが支持
→社会革命党の**ケレンスキー**を首班とし，戦争を継続
B　ソヴィエト
労働者が支持
→即時停戦を主張

④〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の台頭
〔　　　　　　　　　〕が亡命先のスイスから帰国
→〔　　　　　　　　　　　　〕を発表し，「全ての権力をソヴィエトへ」と訴える

演説するレーニン

2 十月革命とソヴィエト＝ロシアの成立

①ロシア〔　　　　　　　　　〕（十一月革命）（1917 年）

ボリシェヴィキが武装蜂起し，ケレンスキーの臨時政府を打倒

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の成立

全ロシア＝ソヴィエト会議で社会主義政権の樹立を宣言

A　議長**レーニン**，外務人民委員**トロツキー**，民族人民委員**スターリン**

B　「〔　　　　　　　　　　　　　　　〕」を発出し，無併合・無賠償・民族自決の原則に基づく即時停戦を交戦国に訴える

C　「〔　　　　　　　　　　　　　　　〕」により地主の土地を没収し，国有化
→社会主義の確立を掲げる

3 ボリシェヴィキ独裁の成立

ボリシェヴィキの一党独裁

憲法制定議会選挙でボリシェヴィキは第二党に（第一党は社会革命党）

①レーニンは武力で議会を閉鎖し，独裁体制を確立

②ボリシェヴィキは〔　　　　　　〕に名称を変更

まとめ

レーニンが「四月テーゼ」を発表し，ソヴィエトへの権限移譲を訴え，ボリシェヴィキが勢力を拡大した。
「平和に関する布告」で即時停戦を訴え，「土地に関する布告」で社会主義の確立を掲げた。

Chapter 2　世界革命と対ソ干渉戦争

目標　ソヴィエト＝ロシアが反革命の勢力に対してどのように対抗したのかを学ぼう。
対ソ干渉戦争中におけるソヴィエト＝ロシアの経済体制を理解しよう。

1　反革命と対ソ干渉戦争

①ドイツと単独講和

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕(1918年）を結んで，同盟国側と講和

→**トロツキー**は無併合・無賠償・民族自決を主張したが，賠償金と領土の割譲が約される

②反革命勢力との抗争

A　〔　　　　　　〕(非常委員会)

秘密警察を組織し，反革命派の動きを取り締まる

B　〔　　　　〕を創始

白軍（反革命軍）と抗争

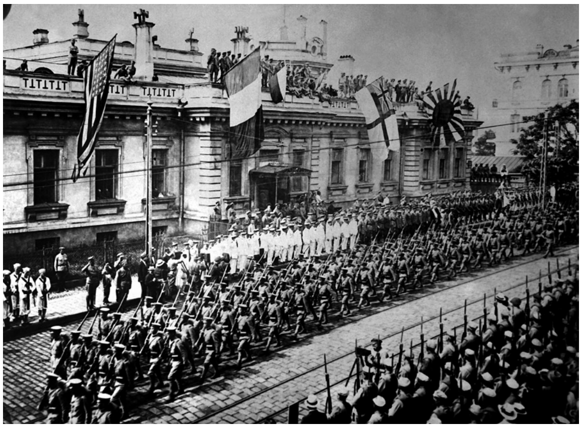
C　〔　　　　　　　　　　〕(**第3インターナショナル**）の結成（1919年）

世界革命を画策

③〔　　　　　　　　　　〕(1918年～22年)

列強は白軍を支援し，ソヴィエトの社会主義化を防ぐ

→チェコ兵の救出を口実にイギリス・フランス・アメリカ・日本などが**シベリア出兵**を行う



シベリア出兵

2　戦時共産主義と新経済政策

①〔　　　　　　　　　　　　　〕(1918年～21年)

対ソ干渉戦争を切り抜けるため,「全てを戦場へ」をスローガンに極度の社会主義を実施

→全企業の国有化や穀物の強制徴発などを行う(→餓死者が増加)

②内戦に勝利

国内の白軍を駆逐し,列強も撤退

③〔　　　　　　　　　　　〕(**ネップ**)(1921年～27年)

小規模企業の私有を認めるなど,部分的に資本主義を復活

→経済は回復し,ネップマン(私的商人・私的事業家)やクラーク(ロシアの富裕な農民)が出現

まとめ　チェカで反革命派の陰謀を取り締まり,赤軍を組織して抗争したほか,コミンテルンで世界革命を目論んだ。
ソヴィエト=ロシアは対ソ干渉戦争に際して,戦時共産主義をとった。

第18講　PART 2　確認問題

1 ニコライ２世が退位し，ロマノフ朝が滅亡した出来事はどれか。

① 第一次ロシア革命　② 二月革命
③ 七月革命　④ 十月革命

2 帝政崩壊後のロシアにおいて，即時停戦とソヴィエトへの権限移譲を主張した一派はどれか。

① 独立派　② フイヤン派
③ メンシェヴィキ　④ ボリシェヴィキ

3 全ロシア＝ソヴィエト会議の議長となり，ソヴィエト＝ロシアを主導した人物はだれか。

① レーニン　② ケレンスキー
③ トロツキー　④ スターリン

4 ロシア革命後の憲法制定議会を武力で閉鎖したのち，一党独裁体制を築いた政党はどれか。

① 立憲民主党　② 共産党
③ 社会革命党　④ ロシア社会民主労働党

5 ソヴィエト＝ロシアが同盟国側と単独講和した条約はどれか。

① ポーツマス条約　② ロンドン秘密条約
③ ブレスト＝リトフスク条約　④ パリ条約

6 ソヴィエト＝ロシアが結成した世界革命を画策する組織はどれか。

① 赤軍　② 白軍
③ コミンテルン　④ チェカ

7 ソヴィエトの社会主義化を防ぐ目的で列強が行った武力行使はどれか。

① 北方戦争　② アロー戦争
③ 対ソ干渉戦争　④ バルカン戦争

8 内戦終了後にソヴィエト＝ロシアが採用した経済立て直しの方針はどれか。

① 重商主義　② 戦時共産主義
③ 新経済政策（ネップ）　④ 鉄血政策

第18講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：②

二月革命でロマノフ朝が滅亡し，十月革命でボリシェヴィキがソヴィエト＝ロシアを成立させた。①の第一次ロシア革命ではロマノフ朝は存続している。③の七月革命はフランスの革命。

2 解答：④

③のメンシェヴィキが戦争継続を容認したのに対し，**ボリシェヴィキ**は即時停戦を主張した。

3 解答：①

全ロシア＝ソヴィエト会議の議長になったのは**レーニン**である。③のトロツキーは外務人民委員に，④のスターリンは民族人民委員にそれぞれ就任した。

4 解答：②

憲法制定議会選挙で社会革命党に敗れたボリシェヴィキは武力で議会を閉鎖し，独裁体制を確立して**共産党**に名称を変更した。

5 解答：③

ソヴィエト＝ロシアは同盟国側と**ブレスト＝リトフスク条約**を結んで単独講和した。

6 解答：③

ソヴィエト＝ロシアは**コミンテルン**を結成し，世界革命を画策した。①の赤軍は反革命軍である白軍と戦う軍隊，④のチェカは反革命派を取り締まる治安組織である。

7 解答：③

英・仏・米・日がシベリア出兵を行うなど，列強は**対ソ干渉戦争**を行った。

8 解答：③

戦時共産主義をしくなどして内戦をしのいだソヴィエト＝ロシアは小規模企業の私有を認めるなどの**新経済政策（ネップ）**を採用し，経済の立て直しを図った。